

日本原子力学会東北支部

第 46 回研究交流会

と き 令和 4 年 11 月 28 日 (月)
開催方法 オンライン (zoom)

★プログラム★

総合司会 藤原充啓 (東北大学大学院工学研究科 助教)

挨拶 支部長 新堀雄一 (東北大学 大学院工学研究科 教授) 9:00 — 9:05

研究発表 (一般口頭発表時間：発表 15 分，質疑 5 分，○は登壇者)

<セッション 1：核分裂炉・核融合炉> 9:05 — 10:05

1. ブランケット模擬体系内部における放射化箔を用いた熱・熱外・高速中性子の計測

東北大・金研¹、京都大²、大阪大³

○荻野 靖之¹、向井 啓祐²、荒木 颯太³、松尾 拓海²、八木 重郎²、玉置 真悟³、村田 勲³

2. 分割型高温超伝導用機械的エッジジョイントにおける接合抵抗の

温度磁場依存性分析

東北大・院工

○鈴木 和也、伊藤 悟、橋爪 秀利

3. フッ化物溶融塩炉における長寿命核分裂生成物の燃焼特性に関する研究

東北大・工¹、東北大・院工²

○藤倉 洪治¹、相澤 直人²

休憩 10:05 — 10:15

4. Ac-228 を用いたアクチニウムの抽出特性

東北大・院工
○菅原 真伍

5. ウラン III 価を中心金属とする機能性錯体の調整

東北大・院工
○宮原 季里子

休憩 10:55 — 11:05

6. ホウ素共存下における Al 含有カルシウムシリケート水和物と Eu との相互作用

東北大・院工
○永井 翔、千田 太詩、関 亜美、新堀 雄一

7. 放射性廃棄物処分場閉鎖前の乾燥過程による周囲の透水性の変化について

東北大・院工
○本郷 幹太、関 亜美、千田 太詩、新堀 雄一

8. 処分環境における過飽和ケイ酸の析出挙動に及ぼす pH および固相表面積の影響

東北大・院工
○小淵 瑛周、千田 太詩、関 亜美、新堀 雄一

9. 地下冠水環境における亜セレン酸イオンとカルシウムシリケート水和物との

相互作用

東北大・院工
○前田一樹、関 亜美、千田 太詩、新堀 雄一

昼食休憩 12:25 — 13:30

<セッション4：ポスター発表>

13:30 — 15:00

ショートプレゼンテーション@Zoom メイン講演会場

13:30 — 14:00

ポスター発表@Zoom ブレイクアウトルーム

14:00 — 15:00

休憩 15:00 — 15:15

<東北支部研究交流会 特別講演>

15:15 — 17:45

(時間：講演 30 分，質疑 15 分)

— 2021 年度東北支部功績賞受賞記念講演 —

15:15 — 16:00

S1. 福島第一原発事故後の住環境調査を通じた住民とのリスク・

コミュニケーション

東北大学 サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター 研究教授 吉田 浩子 先生

休憩 16:00 — 16:15

— 第 12 回南東北原子力シンポジウム —

(日本保全学会 東北・北海道支部共催セッション)

16:15 — 17:45

S2. 女性の現場進出を助ける取り組み～カプラ接続治具～

六ヶ所エンジニアリング株式会社 植村 真紀 殿

S3. 東京電力福島第一原子力発電所事故後の放射線計測の新たな取り組み

福島大学環境放射能研究所 教授 鳥居 建男 先生

★ポスター発表 プログラム★

ショートプレゼンテーション — zoom メイン講演会場 (13:30 — 14:00)

ポスター発表 — zoom ブレイクアウトルーム (14:00 — 15:00)

(○は登壇者)

P1. 原子力発電に関する態度形成要因の構造化分析

東北大・院工¹、大阪大²

○椎野 直¹、高橋 信¹、八木 絵香²

P2. PET 検査中に動く実験動物の生体機能評価実現に向けた体動補正のための

画像ベース放射性マーカー追跡アルゴリズムに関する基礎研究

東北大・院工¹、東北大・サイクロトロン RI センター²

○西川 萌絵¹、芳川 彩乃¹、中山 裕喜¹、三宅 正泰²、渡部 浩司²、志田原 美保¹

P3. PET 創薬効率化に向けた機械学習による脳 PET トレーサー動態予測技術の

開発

東北大・院工

○佐橋 京征、宮嶋 樹生、芳川 彩乃、志田原 美保

P4. 環境モニタリングに係る国際協力の経験

日本原子力研究開発機構 廃炉環境国際共同研究センター¹、日本原子力研究開発機構 原子力緊急時支援・研修センター²

○越智 康太郎¹、森 愛理²、佐々木 美雪¹、中間 茂雄¹、三上 智²、眞田 幸尚¹

P5. 福島県浜通りにおけるガンマ線のイメージング

福島大学 環境放射能研究所¹、日本原子力研究開発機構²

○河原 梨花¹、越智 康太郎²、山口 克彦¹、鳥居 建男¹

P6. 炉心設計およびリスク評価等のグループ企業も含めた技術力向上に対する

取り組みの状況について

東北電力株式会社

○高橋 宏行、佐藤 大輔、猪股 一正

P7. Feasibility Study on the Application of Monte Carlo Simulations to
Airborne Radiological Survey for the Estimation of Atmospheric Radon and its
Progenies

福島大学 環境放射能研究所

○セム コー